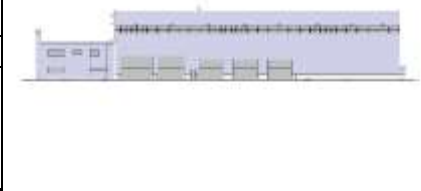




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	苗穂整備場	階数	地上2F
建設地	札幌市東区苗穂町7丁目5番地、8丁目309番地、9-5番地	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	42人
気候区分	2地域	年間使用時間	5,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2017年1月31日
敷地面積	128,314 m ²	作成者	CIM(株) 草野 英樹
建築面積	1,695 m ²	確認日	2017年1月31日
延床面積	2,099 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物用途が自動車修理工場なので、環境配慮にはあまり寄与できないが設置機器の省エネ化や既存緑地面積を損なうことのないように計画した。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> LED照明器具を採用した。 	
<p>B 省資源等</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部建具にはLow-E複層ガラスを採用した。 LED照明器具を採用した。 節水型衛生器具を採用した。 	<p>C 緑化</p> <p>敷地内に既存樹木がありその樹木を伐採することなく緑地も確保する計画とした。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>雪堆積スペースは建物周囲空地を利用する。十分に余裕がある敷地計画とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される